

在宅緩和医療をいかに広めていくか

日時：平成23年 7月 24日(日)
12:00～15:00

場所：岡山大学病院入院棟カンファレンスルーム 11C

緩和ケアは、病院の中だけで行われるものではありません。自宅で療養しながら受ける在宅での緩和ケアがあります。近年医師や看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー達が一体となったチーム医療は、在宅（訪問看護）でも緩和ケアを可能にしました。家族のそばで自分らしく・・・住み慣れた我が家での緩和ケアで幸せな終末期医療をとという選択を広めていくため、在宅医療の担い手の各分野の専門家にご講演賜ります。

1 基調講演（12:00～13:00）



樽見葉子（ロイヤルアレキサンドラ病院緩和医療部 臨床准教授）

「幸せな終末期医療～エドモントンで在宅医療が

いかに受け入れられ、いかに広まったか～」

2 パネルディスカッション 在宅医療（13:00～15:00）

司会 / 松岡 順治 , 樽見 葉子

講師 / 和田 忠志（あおぞら診療所高知潮江 院長）

「在宅緩和医療について」

二宮 忠矢（岡山県保健福祉部 参与）

「第6次岡山県保健医療計画で目指す在宅緩和ケア」

塚本 眞言（岡山県医師会 理事）

「ケースで見る終末在宅緩和医療」

石橋 京子（岡山大学病院総合患者支援センター 医療ソーシャルワーカー）

「岡山大学病院における在宅連携」

江田 純子（みつ訪問看護ステーション看護協会 所長）

「訪問看護からみた、在宅医療を妨げる因子」

松岡 順治（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 緩和医療学講座 教授）

「岡山県における緩和医療啓発～野の花プロジェクト～」

お問合せ：岡山大学大学院医歯薬総合研究科 緩和医療学講座
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 TEL&FAX 086-235-6502

主催 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム / 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 緩和医療学講座
協賛 岡山大学医学部 150周年ルネサンス
後援 岡山県・岡山県医師会・岡山大学医師会・岡山県看護協会・岡山県病院協会岡山県介護福祉士会・岡山県社会福祉士会・岡山県薬剤師会・岡山県愛育委員連合会・TSC・山陽新聞社